

## 医療保障システムの現状と問題

——制度・財政・サービスの視点から考えよう——

長谷川 千 春

2010年4月に立命館大学に着任し、「福祉行財政論」「福祉計画論」などを担当しています。1980年代以降のグローバル化の進展と産業構造の変化、労働編成の再編のなかでの、アメリカ医療保障システムの再編について研究しています。また、日本においても近年指摘されるようになった「無保険」問題や医療保障問題についても、日米比較の観点から研究を行っています。

### 1. 専門演習の目標

この演習は、(1) 医療保障をめぐる現実問題についての理解を深めること、(2) 医療保障のための制度・政策についての理解を深めること、(3) 医療保障システムで生じている問題への解決策について考えること、の3つを目標とします。

### 2. 専門演習で扱う課題と内容

医療保障システムと一言でいっても、その領域は、医療保険に関する領域、医療機関(病院、診療所など)、医師・看護師などの医療サービス提供体制に関する領域、医療機器、医薬品などの医療物品提供体制に関する領域、そして国や地方自治体、企業、国民の医療費負担の問題など非常に幅広いものです。現代社会における医療保障システムの現状と問題についての理解を深め、その課題への対応策についての自分の見解を持てるようになってもらいたいと考えています。

学生の関心にもとづき対象領域を定め、日本にとどまらず、アメリカやヨーロッパ、アジアなどの諸外国の医療保障との国際比較の観点も取り入れたいと考えています。

### 3. 授業の進め方・内容

3回生前期：文献研究を行い、個人の研究テーマ・領域を確定する。

後期に向けた、個人の研究計画を策定する。

3回生後期：個人の研究計画にもとづく、研究報告と討議を行う。随時、フィールドワークや文献研究なども行う。3回生レポートを作成する。

4回生前期：卒業研究論文の作成に向けて、まずは論文作成の方法について学習する。

個人の卒業研究計画を策定し、随時中間報告を行う。

4回生後期：卒業研究論文の作成し、随時報告・検討会を行う。

### 4. 必要とする知識

社会保障や社会福祉に関する基礎的知識などがあれば良いでしょう。

### 5. 関連する分野・科目・知識

社会政策、財政学関係の科目

### 6. テキスト・参考書・機材(受講生が標準的に持つもの)

演習の中で、必要に応じて指示します。

### 7. 独自に付加する選考方法

特になし。

### 8. 受講生に望むこと

現在の医療や介護などの社会保障・社会福祉に関する問題に関心を持って、「なぜそのような問題が起こっているのか」「どうすればよいのか」をホットなハートとクールな頭脳で議論したい学生を歓迎します。